まちに、夢を描こう。

Nishitetsu Group

2026年度　第2四半期
(2026年４月～2026年９月)
決算補足説明資料

2026年11月6日

西日本鉄道株式会社

（コード番号　9031）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び
合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

目次

		ページ
１.連結決算概要	・・・	1
連結経営成績、連結の範囲		
２.セグメント別損益	・・・	2～8
セグメント別損益状況、数量情報		
３.連結財政状態	・・・	9
４.連結キャッシュ・フローの状況	・・・	10
５.2026年度連結業績予想	・・・	11～13
セグメント別損益予想		

１．2026年度第2四半期　連結決算

《 全体損益等 》

営 業 収 益 営 業 利 益	不動産業における不動産販売事業でマンション販売戸数の減少などにより減収となった一方、 不動産賃貸事業において前期に開業した「ONE FUKUOKA BLDG.」でのオフィステナントの充足が進んだことに加え、 物流業における国際物流事業での輸出入取扱高の増加、ビジネスサポート業における農業関連事業で前期に連結子会社化したヒノマルグループの寄与、 モビリティ業における鉄道事業での運賃改定効果、ならびにホテル・レジャー業におけるホテル事業での客室単価の上昇などにより、増収・増益
経 常 利 益	持分法による投資利益の増加などもあり、増益
親会社株主に帰属する 中間純利益	投資有価証券売却益の減少などにより、減益

2026年度の期首より管理区分を変更したことに伴い、報告セグメントを変更しています。

(単位：億円)

	2026/2Q	2025/2Q	増 減	率(%)	主 な 増 減 内 容
営 業 収 益	2,440	2,235	205	9.2	（＋）国際物流 125 (取扱高増)、農業関連 81 (ヒノマルグループ連結子会社化)、ホテル実質 19 (客室単価上昇)、 不動産賃貸 18 (ONE FUKUOKA BLDG. オフィス充足)、鉄道 14 (運賃改定効果)、不動産ソリューション 7 (物件販売増) （△）不動産販売 △57 (マンション販売戸数減)、海外不動産 △14 (業務支援料)、車両整備関連 △8 (受注減)
営 業 利 益	146	143	3	2.1	（＋）不動産賃貸 12、鉄道 11、国際物流 7、ホテル 6、農業関連 2、資源エネルギー関連 2 (粗利増) （△）不動産販売 △17、海外不動産 △14、建設関連 △2 (粗利減)、車両整備関連 △2
経 常 利 益	151	144	7	5.1	（＋）持分法投資損益 8 (当期 11、前期 3) （△）支払利息 △4 (当期 △19、前期 △16)
親会社株主に帰属する 中間純利益	147	165	△ 18	△ 11.0	〈当期〉固定資産売却益 62 (渡辺通ビル、渡辺通二丁目ビル) 〈前期〉投資有価証券売却益 54、固定資産売却益 45 (信託受益権)
		・前期の数値は変更後の区分に基づき表示しています。なお、一部項目については管理区分に基づく集計方法の見直しを反映しています。 ・営業利益及び経常利益は、2000年度に中間決算が導入されて以来、過去最高			
事 業 利 益	160	148	12	7.9	(事業利益＝営業利益＋事業投資に伴う受取配当金・持分法投資損益等)
E B I T D A	284	262	22	8.3	(EBITDA＝事業利益＋減価償却費＋のれん償却費[営業費])
設 備 投 資	147	136	12	8.6	〈当期〉不動産賃貸 (賃貸用地取得、建物等)、バス (車両新造)

《 連結の範囲（期末）》　連結子会社 84社 (増加 2 社、減少 △ 2 社)、持分法適用会社 48社 (増加 1 社)、持分法非適用会社 6 社 (増減なし)

2．セグメント別損益

対前年比較

（単位：百万円）

	営業収益				営業利益			
	2026/2Q	2025/2Q	増減	率(%)	2026/2Q	2025/2Q	増減	率(%)
モビリティ	**51,420**	48,880	2,539	5.2	**3,774**	2,920	853	29.2
不動産	**40,774**	45,338	△ 4,564	△ 10.1	**4,046**	5,804	△ 1,758	△ 30.3
ホテル・レジャー	**23,039**	20,802	2,236	10.8	**3,066**	2,517	548	21.8
流通・外食	**37,145**	36,697	447	1.2	**78**	42	36	86.0
物流	**83,897**	71,935	11,961	16.6	**3,257**	2,541	716	28.2
ビジネスサポート	**18,137**	10,276	7,861	76.5	**613**	529	83	15.7
調整額	**△ 10,441**	△ 10,415	△ 26	-	**△ 227**	△ 41	△ 185	-
合計	**243,971**	223,516	20,455	9.2	**14,608**	14,313	294	2.1

モビリティ業　鉄道事業で４月に実施した運賃改定効果や旅客人員の増加、バス事業でグループ内取引額が減少した一方、運賃施策や旅客人員の増加などにより旅客収入が増加し、増収・増益

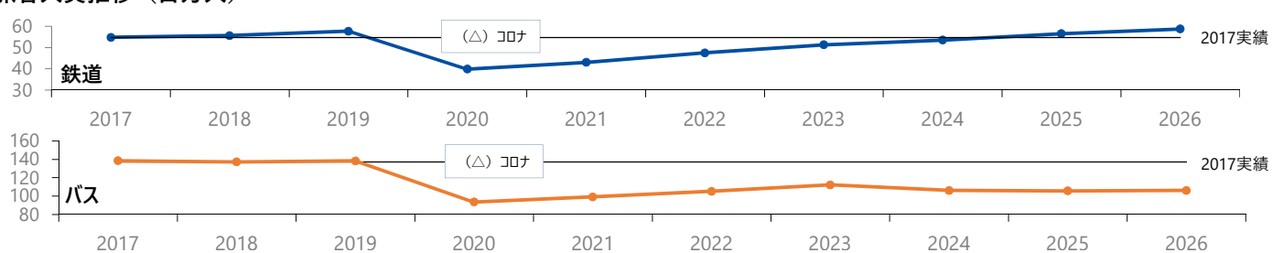
(単位：百万円)

	2026/2Q	2025/2Q	増 減	率(%)	主 な 増 減 内 容	
営 業 収 益	**51,420**	**48,880**	**2,539**	**5.2**		
鉄　道	**13,169**	11,788	1,381	11.7	（＋）運賃改定効果、人員増	
バ　ス	**28,402**	28,502	△99	△0.3	（＋）運賃施策、人員増	
（※実質）	**(27,274)**	(26,697)	(577)	(2.2)	（△）ダイヤ改正・路線廃止	
車両整備関連	**9,110**	9,932	△821	△8.3	（△）受注減	
他	**7,279**	6,734	545	8.1	（＋）モビリティ関連	
消　去	**△6,542**	△8,076	1,533	-		
営 業 利 益	**3,774**	**2,920**	**853**	**29.2**		
鉄　道	**1,880**	808	1,071	132.4	（＋）増収	（△）費用増 (減価償却費、人件費)
バ　ス	**1,308**	1,453	△144	△ 10.0	（△）費用増 (減価償却費、人件費)	（＋）増収
車両整備関連	**232**	400	△167	△ 41.9		
他	**439**	511	△71	△ 14.0		
消　去	**△87**	△253	166	-		
※実質･･･事業内部取引を除く						
ＥＢＩＴＤＡ	**8,196**	6,802	1,394	20.5	（EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費[営業費]）	
設 備 投 資	**3,927**	3,590	337	9.4	〈当期〉バス (車両新造)	

旅客人員　(単位：百万人)

	2026/2Q	2025/2Q	増 減	率(%)
鉄 道	**58**	**56**	**2**	**3.8**
定　期　外	**24**	24	0	1.7
定　期	**33**	32	1	5.4
バ ス	**105**	**105**	**0**	**0.4**
定　期　外	**59**	60	△0	△0.8
定　期	**46**	45	0	2.0

旅客人員推移（百万人）



不 動 産 業　不動産賃貸事業で前期に開業した「ONE FUKUOKA BLDG.」でのオフィステナントの充足が進んだ一方、不動産販売事業でマンション販売戸数が減少したことや、海外不動産事業で前期に計上した業務支援料収入の反動減などにより、減収・減益

(単位：百万円)

	2026/2Q	2025/2Q	増 減	率(%)	主 な 増 減 内 容
営 業 収 益	**40,774**	**45,338**	**△4,564**	**△10.1**	
不動産賃貸	**23,038**	21,281	1,756	8.3	（＋）ONE FUKUOKA BLDG.（オフィス充足）
不動産販売	**13,365**	19,022	△5,657	△29.7	（△）マンション（販売戸数減）
海外不動産	**766**	2,165	△1,398	△64.6	（△）業務支援料、受取配当金
不動産ソリューション	**7,949**	7,286	663	9.1	（＋）物件販売増
消　去	**△4,346**	△4,417	71	-	
営 業 利 益	**4,046**	**5,804**	**△1,758**	**△30.3**	
不動産賃貸	**4,470**	3,283	1,187	36.2	（＋）増収
不動産販売	**△74**	1,577	△1,651	-	（△）マンション（粗利減）
海外不動産	**328**	1,775	△1,447	△81.5	（△）減収
（※ 事業利益）	**(△425)**	(642)	(△1,068)	-	（△）業務支援料収入
不動産ソリューション	**178**	220	△42	△19.3	（△）費用増（人件費）
消　去	**△856**	△1,052	195	-	
※事業利益＝営業利益-関連会社からの受取配当金の消去等+持分法投資損益等					
ＥＢＩＴＤＡ	**8,822**	10,528	△1,705	△16.2	（EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費[営業費]）
設 備 投 資	**8,505**	5,425	3,079	56.8	〈当期〉不動産賃貸（賃貸用地取得、建物等）

分譲販売区画数

(単位：戸、区画)

	2026/2Q	2025/2Q	増 減	率(%)	摘　要
合計	**279**	**455**	**△176**	**△38.7**	
マンション	**207**	359	△152	△42.3	〈当期〉ジオ板橋浮間舟渡、サンリヤン堺、サンリヤン横浜二俣川
（うち一棟売却賃貸マンション）	**-**	(123)	(△123)	(△100.0)	〈前期〉ガーデングランデ横浜戸塚、一棟売却賃貸マンション
戸　建	**64**	93	△29	△31.2	
リノベーション	**8**	3	5	166.7	

ホテル・レジャー業　　ホテル事業で客室単価の上昇に加え、前期に開業した「ONE FUKUOKA HOTEL」の寄与などにより、増収・増益

(単位：百万円)

	2026/2Q	2025/2Q	増 減	率(%)	主 な 増 減 内 容
営 業 収 益	**23,039**	**20,802**	**2,236**	**10.8**	
ホ テ ル	**19,057**	17,005	2,052	12.1	（＋）客室単価の上昇、ONE FUKUOKA HOTEL (前期開業)
(※ 実 質)	**(18,499)**	(16,558)	(1,940)	(11.7)	
レ ジ ャ ー	**3,198**	3,046	152	5.0	（＋）マリンワールド (水族館入館人員増)
旅 行	**1,847**	1,681	165	9.9	（＋）海外取扱増
消 去	**△1,065**	△931	△133	-	
営 業 利 益	**3,066**	**2,517**	**548**	21.8	
ホ テ ル	**1,974**	1,397	577	41.3	（＋）粗利増
レ ジ ャ ー	**836**	849	△12	△1.5	
旅 行	**354**	370	△16	△4.4	（△）費用増 (人件費)　　（＋）粗利増
消 去	**△99**	△99	0	-	
※実質･･･事業内部取引を除く					
E B I T D A	**4,043**	3,428	614	17.9	(EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費[営業費])
設 備 投 資	**339**	514	△174	△33.9	

国内宿泊主体型ホテル客室単価、稼働率、Rev PAR

	2026/2Q	2025/2Q	増 減	率(%)
客室単価　(円)	**14,701**	13,485	1,216	9.0
稼働率　(%)	**78.7**	77.0	1.7P	-
Rev PAR　(円)	**11,564**	10,387	1,177	11.3

シティホテル及びONE FUKUOKA HOTELは除く

流通・外食業

スーパーマーケット・外食事業で前期に改装した店舗や「レガネット春日原」（2026年２月開業）の寄与などにより、増収
生活雑貨販売業で閉店などによる減収があった一方、「イオンモール大牟田店」（2025年10月開業）などの新店の寄与などにより、増収
スーパーマーケット・外食事業で粗利率の改善などもあり、増益

(単位：百万円)

	2026/2Q	2025/2Q	増 減	率(%)	主 な 増 減 内 容
営 業 収 益	**37,145**	**36,697**	**447**	**1.2**	
スーパーマーケット・外食	**33,979**	33,659	319	1.0	（＋）前期改装店 (天神店、千早店、穴生店)、レガネット春日原 ('26.2月開業)
生活雑貨販売	**3,165**	3,038	127	4.2	（＋）イオンモール大牟田店 ('25.10月開業)　（△）閉鎖店
消　去	-	△0	0	-	
営 業 利 益	**78**	**42**	**36**	**86.0**	
スーパーマーケット・外食	**129**	6	123	-	（＋）粗利増 (粗利率改善)
生活雑貨販売	**67**	123	△56	△45.7	（△）費用増 (新規店開業費・改装店移転経費)　（＋）粗利増
消　去	**△118**	△87	△30	-	
ＥＢＩＴＤＡ	**625**	536	88	16.5	（EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費[営業費]）
設 備 投 資	**401**	753	△352	△46.8	

【参考】ストア　食品スーパー既存店売上　対前期比推移(%)　※収益認識会計基準等適用前ベース



食品スーパー既存店：当該年およびその前年のいずれにも営業していた店舗を対象。また、年度の途中で開店または閉店した店舗は除外。

物　流　業　　国際物流事業で輸出入取扱高の増加や為替変動による円換算額の増加などにより、増収・増益

(単位：百万円)

	2026/2Q	2025/2Q	増 減	率(%)	主 な 増 減 内 容
営 業 収 益	**83,897**	**71,935**	**11,961**	**16.6**	
国 際 物 流	**87,639**	75,177	12,461	16.6	（＋）輸出入取扱高増、為替差
国 内 物 流	**5,957**	5,699	257	4.5	（＋）取扱増
消 去	**△9,699**	△8,941	△757	-	
営 業 利 益	**3,257**	**2,541**	**716**	**28.2**	
国 際 物 流	**3,206**	2,479	727	29.3	（＋）粗利増
国 内 物 流	**228**	155	72	46.6	
消 去	**△176**	△93	△83	-	
ＥＢＩＴＤＡ	**4,495**	3,691	803	21.8	（EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費[営業費]）
設 備 投 資	**1,052**	1,516	△464	△30.6	

国際貨物取扱高

	単位	2026/2Q	2025/2Q	増　減	率(%)	地域ごとの増減率(%)
航 空 輸 出	(千トン)	**57**	53	3	7.4	日本 14.7、北中米 △0.4、欧州 8.7、アジア △0.0
航 空 輸 入	(千件)	**179**	173	6	3.5	日本 △1.2、北中米 11.3、欧州 2.1、アジア 3.9
海 運 輸 出	(千TEU)	**60**	59	0	1.7	日本 2.5、北中米 △4.6、欧州 △1.8、アジア 1.9
海 運 輸 入	(千TEU)	**79**	74	4	6.7	日本 10.4、北中米 1.6、欧州 7.4、アジア 4.2

ビジネスサポート業　**農業関連事業で前期にヒノマルグループを連結子会社化したことなどにより、増収**
建設関連事業で粗利が減少した一方、農業関連事業でのヒノマルグループの寄与や、
資源エネルギー関連事業での粗利の増加などにより、増益

(単位：百万円)

	2026/2Q	2025/2Q	増減	率(%)	主な増減内容
営業収益	**18,137**	**10,276**	**7,861**	**76.5**	
建設関連	**3,694**	3,906	△211	△5.4	（△）受注減
農業関連	**8,101**	28	8,073	-	（＋）ヒノマルグループ連結子会社化
資源エネルギー関連	**2,620**	2,204	415	18.8	（＋）非鉄製品処理台数増
広告・メディア関連	**1,452**	1,567	△115	△7.4	（△）ONE FUKUOKA BLDG. 開業反動減
ITサービス関連	**2,574**	2,319	254	11.0	（＋）受注増
シェアードサービス関連	**584**	542	41	7.7	
消去	**△889**	△293	△596	-	
営業利益	**613**	**529**	**83**	**15.7**	
建設関連	**20**	194	△173	△89.3	（△）粗利減
農業関連	**201**	△18	219	-	
資源エネルギー関連	**541**	384	157	40.9	（＋）粗利増
広告・メディア関連	**0**	43	△43	△99.6	（△）粗利減
ITサービス関連	**44**	△68	112	-	（＋）粗利増
シェアードサービス関連	**37**	22	15	68.4	
消去	**△232**	△29	△203	-	（△）ヒノマルグループのれん償却
EBITDA	**1,192**	892	299	33.5	（EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋のれん償却費[営業費]）
設備投資	**286**	268	17	6.6	

3．連結財政状態

（単位：億円）

	2026年9月末	2026年3月末	増減	主な増減内容
資産合計	**8,261**	**8,209**	**52**	
流動資産	**2,184**	2,202	△18	受取手形・売掛金及び契約資産 △74（売掛金等）、販売土地及び建物 33
固定資産	**6,077**	6,007	70	投資その他の資産「その他」65（長期出資金）
負債合計	**5,180**	**5,278**	**△98**	
流動負債	**1,351**	1,635	△284	支払手形及び買掛金 △67、借入金 △44、コマーシャル・ペーパー 30
固定負債	**3,829**	3,643	185	
純資産合計	**3,081**	**2,930**	**151**	利益剰余金 113（中間純利益 147、配当 △34）、その他有価証券評価差額金 21
自己資本比率	**36.2%**	34.6%	1.6P	
株主資本比率	**30.6%**	29.4%	1.2P	
1株当たり純資産	**3,952.24円**	3,759.40円	192.84円	
有利子負債	**3,616**	**3,630**	**△14**	借入金 △44、コマーシャル・ペーパー 30、 社債（発行 200［2026.5.28］、償還 △200［2026.6.22］）

※ 有利子負債 ＝ 借入金 + コマーシャル・ペーパー + 社債

4 . 連結キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

	2026/2Q	2025/2Q	増減	2026年度第2四半期　主な内容
営　業　活　動	**246**	160	86	●営業活動によるキャッシュ・フロー ・税金等調整前中間純利益　215 (対前年 △27) ・減価償却費　123 (対前年 9) ・売上債権の減少　81 (対前年 77) ・法人税等支払　△ 63 (対前年 △9) ・固定資産売却損益　△ 62 (対前年 △17)
投　資　活　動	**△183**	△26	△157	●投資活動によるキャッシュ・フロー ・固定資産取得支出　△ 189 (対前年 △7) ・出資金払込支出　△ 68 (当期：ナムロンADC社など) ・固定資産売却収入　51 (当期：渡辺通ビル、渡辺通二丁目ビルなど) ・投資有価証券　16 (当期：売却収入 49、取得支出 △33)
財　務　活　動	**△63**	△101	38	●財務活動によるキャッシュ・フロー ・配当金支払　△ 34 ・リース債務返済支出　△ 16 (対前年 △6) ・借入金、社債、コマーシャル・ペーパー　△ 12 (対前年 35 [コマーシャル・ペーパー 30、借入金 5]、社債 [当期：発行 200、償還 △200])

	2026年 9月末	2026年 3月末	増減
現金等 期末残高	**461**	458	3

5．2026年度連結業績予想

(単位：億円)

	2026年度（予想）	2025年度（実績）	増減	増減率	前回公表（'26/5公表）	差異
営業収益	5,100	4,758	342	7.2 %	5,100	-
営業利益	265	313	△48	△15.4 %	245	20
経常利益	260	367	△107	△29.1 %	245	15
親会社株主に帰属する当期純利益	225	322	△97	△30.0 %	225	-
事業利益	284	369	△85	△23.1 %		
減価償却費	255	241	15	6.0 %		
EBITDA	539	610	△71	△11.6 %		
設備投資	600	350	250	71.4 %		

※事業利益＝営業利益+事業投資に伴う受取配当金・持分法投資損益等

※EBITDA＝事業利益＋減価償却費+のれん償却費(営業費)

(前回公表との差異)

営業収益 ： (＋) ホテル事業での客室単価の上昇、国際物流事業での輸出入取扱高の増加、不動産賃貸事業での歩合賃料の増加
(△) 不動産販売事業での分譲販売区画数の減少、スーパーマーケット・外食事業での物価上昇による買い控えや競合店の影響

営業利益
経常利益 ： (＋) 下記事業での費用の減少、不動産賃貸事業での歩合賃料の増加、ホテル事業での客室単価の上昇
(△) 不動産販売事業やスーパーマーケット・外食事業、国際物流事業での粗利の減少

親会社株主に帰属する当期純利益 ： (△) 固定資産の譲渡計画見直しに伴う固定資産売却益の減少

５．2026年度連結業績予想

(単位：億円)

		2026年度（予想）	2025年度（実績）	増減	営業利益の主な増減 ()は主な増減要因	前回公表（'26/5公表）	差異
全業	営業収益	5,100	4,758	342		5,100	-
	営業利益	265	313	△48		245	20
モビリティ業	営業収益	1,037	982	55	鉄道事業の増益、バス事業の減益	1,033	4
	営業利益	59	58	1	(鉄道:運賃改定効果、バス:減価償却費・人件費の増加)	58	1
不動産業	営業収益	975	966	9	不動産販売事業、海外不動産事業の減益	1,000	△25
	営業利益	82	118	△36	(販売:分譲販売区画数減、海外:業務支援料の減少)	74	8
ホテル・レジャー業	営業収益	476	444	32	ホテル事業の増益、レジャー事業の減益	460	16
	営業利益	53	52	1	(ホテル:客室単価上昇、レジャー:一般費の増加)	47	6
流通・外食業	営業収益	745	742	3		765	△20
	営業利益	5	5	△0		5	-
物流業	営業収益	1,693	1,530	163	国際物流事業の減益	1,680	13
	営業利益	59	61	△2	(人件費の増加)	59	-
ビジネスサポート業	営業収益	391	314	77	建設関連事業、ITサービス関連事業の減益	385	6
	営業利益	15	23	△8	(粗利の減)	10	5

5．2026年度連結業績予想

(単位：億円)

			2026年度（予想）	2025年度（実績）	増減	前回公表（'26/5公表）	差異
モビリティ業	鉄道事業	営業収益	269	239	30	262	7
		営業利益	35	19	17	30	5
	バス事業	営業収益	565	563	2	568	△3
		営業利益	8	24	△17	13	△5
不動産業	不動産賃貸事業	営業収益	464	439	25	457	7
		営業利益	69	66	3	63	6
	不動産販売事業	営業収益	392	429	△37	431	△39
		営業利益	13	46	△33	16	△3
	海外不動産事業	営業収益	19	33	△13	9	10
		営業利益	8	20	△12	△4	12
		(事業利益) ※	(△7)	(0)	(△7)	(4)	(△10)
ホテル・レジャー業	ホテル事業	営業収益	404	374	29	393	11
		営業利益	41	39	3	37	5
	レジャー事業	営業収益	57	55	2	56	2
		営業利益	8	10	△2	8	△1
物流業	国際物流事業	営業収益	1,775	1,601	174	1,767	8
		営業利益	60	60	△0	59	1

サブセグメントの営業収益・営業利益は単純集計であり、内部取引の消去は行っていません。

※事業利益＝営業利益-関連会社からの受取配当金の消去等+持分法投資損益等